

特別養護老人ホーム 湯梨浜はごろも苑

1 基本方針

利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立って良質の介護福祉サービスを提案し、個別ケアを実践する。

良質の介護・福祉サービスを提供することにより 利用者がその有する能力に応じ、安心して安全な自律した日常生活を営むことができるよう努める。

地域住民との交流を深め、地域に必要とされ、愛され信頼される施設づくりに努める。

2 今年度重点事業目標

(1) 経営基盤の確立

ア 入所人員は介護職員の確保の目途がつくまで当面 100 名とするが、稼働率としては、従前どおり 120 名定員換算で 81% (常時入所 97 名程度) を目標に設定して運営する。

イ 関係事業所と連携し、待機者確保に努めるとともに、空床から入所までの期間を短縮し、スムーズな入所へつなげる。また、空床利用型短期入所の利用促進を図り、稼働率向上と併せて将来の施設入所の選択肢となるように努める。

(2) 利用者へのサービスの質の向上

ア 一人ひとりの意向を尊重し、「その人らしく生きる」、「～をしたい」を実現できるよう多職種で連携して支援する。また、家族への情報提供を密にし、信頼関係の構築に努める。

イ 利用者の尊厳を尊重し、「虐待ゼロ」、「身体拘束ゼロ」、「不適切ケアの廃止」を徹底する。

ウ 日常生活を継続するために必要な生活リハビリを実施し、利用者が有する能力の維持、増進に努め、QOL のさらなる向上につなげる。

エ 日々の体調管理と観察、情報共有に努め、異状の早期発見・早期治療に取り組む。また、終末期にはその人らしい最期が迎えられるよう多職種で連携し、利用者や家族の意向に寄り添った看取りを行う。

オ 利用者の生活の楽しみである食事について、調理技術を高めるとともに安全性の高い食事を提供し、利用者の生活意欲を高める。

カ 口腔内の清潔を保つとともに摂食嚥下の理解を深め、誤嚥性肺炎のリスク軽減に努める。

キ 一年を通して季節に応じた行事を実施することで、利用者一人ひとりが楽しみや生きがいを感じ、笑顔で過ごしていただけるよう取り組む。

ク LIFE (科学的介護情報システム) を活用し、根拠に基づくケアを実践し、より良いサービスにつなげるとともに重度化の防止に努める。

(3) 安全管理の徹底や働きやすい職場環境の整備

ア 利用者の安全、安心、快適な生活が送れるようリスクへの意識を高め、事故防止に努める。また事故後はしっかり発生の原因を検証・分析し、再発防止を徹底する。

イ 清潔な環境を整えるとともに、標準予防策の徹底により感染症の拡大防止に努める。また不測の際はサービスが継続できるよう BCP (事業継続計画) に基づき、事業継続と迅速な復旧を目指す。

ウ 生産性向上委員会を中心に、業務の効率化を推進し、職員の負担軽減と風通しの良い働きやすい環境を整える。

エ 質の高い介護を継続的に実施できるよう職員の定着と人材育成を推進する。特に、介護技能実習生の受入にあたり、利用者の支援や信頼関係が構築できるよう育成に取り組む。

(4) 地域とのつながりの強化

- ア 地域の研修や会議等へ積極的に専門職等を派遣し、福祉の面から地域に貢献する。
- イ 災害時等の地域住民の避難場所として、必要に応じて「はごろもホール」を提供するとともに、福祉避難所として町との連携のもとに支援が必要な方の受け入れを行う。また、地域住民と連携しながら防災への備えに取り組む。
- ウ 近隣住民も集えるカフェ（オレンジカフェ）の開催や、苑内行事にボランティアの協力を仰ぐなど、コミュニティの拠点として地域とのつながりを強化する。